



尾久八幡

令和7年度6月号
令和7年6月10日発行
荒川区立尾久八幡中学校
校長 稲葉 裕之

2日にわたり、全校でやり遂げた、意義ある学校行事になりました。

第63回運動会 5月31日(土)・体育競技会 6月5日(木)

5月31日(土)、スローガン『疾風迅雷 ～全力の証明～』のもと、第63回運動会を実施しました。

しかし当日は「終日雨」の予報で、朝のうちはまだ降っていませんでしたが、生徒が登校する頃には降り始めました。この場合、通常は「予備日6月2日(火)に延期」とするのですが、この日も「雨」の予報。そうすると、その後に運動会として実施することは難しく、せっかく準備・練習をしてきた成果を発揮する機会が無くなってしまいます。特に「色別ダンス」は、3年生のダンスリーダーが中心となり、振り付けから考え、1・2年生に指導し、色別(学級団)ごと生徒たちの力で練習を運営しながら、全校で作り上げてきたものです。せめてこれだけは、平日でない今日この日に実施し、多くの保護者の方々に参観していただきたいと考えました。



そこで、雨雲レーダーを確認しながら、一時的に雨が止む時間帯を狙って「色別ダンス」のみ実施することになりました。9:30、雨が降るなか、2階アリーナに3年生のみ集合し、開会式を行いました(1・2年生は各教室で配信視聴)。その後、前日から設置しておいた生徒席テントに移動しました。しかし、雨は強まるばかり。既に大勢の保護者の方々が集まっていますが、10:10を過ぎても止む気配がありません。これでは今日は中止もやむを得ないか…と、あきらめかけたとき、唐突に雨の降り方が収まりました。

雨雲レーダーによると、雨の合間はこの時点からの20分間。そこで、急いで「色別ダンス」の演技をスタートしました。幸い、本校の使用する区民運動場は人工芝で、雨による水たまりやぬかるみができないため、雨さえ降っていなければ競技・演技が可能です。おかげさまで、4チーム全てのダンス演技を披露することができました。この後は雨が続く予報であったため、競技の継続は断念、運動会は終了とさせていただきます。それでも、たくさんの保護者の皆様の前で演技を披露でき、生徒たちは満足そうでした。当日は雨の中、ご参観いただきまして、ありがとうございました。



その後、2週間後に期末考査が迫るなか日程調整を行い、善後策として、6月5日（木）に授業時間を使って残りの競技を実施する“競技会”を行うことにしました（時間の関係で「綱引き」は中止）。運動会並みの準備・実施は時間的にも管理運営的にも難しいため、会場設営や競技進行を簡易的なものにし、保護者の方には“授業参観”という形で来校いただくこととさせていただきました。



当日は晴天、しかも涼しい風が吹き、絶好の競技会日和でした。さらにこの日は、平日にも関わらず、多くの保護者の皆様にご来校いただき、盛り上げていただきました。生徒たちはみな、競技そのものはもちろん、競技会の進行にも全力で取り組んでくれました。予行で練習したプログラム順ではないにも関わらず、各学年の入退場も滞ることなく、また各系の生徒は、それに合わせ考えて動き、できることをやることで、スムーズな進行を作り出してくれました。そうした、これまで練習してきたことを競技で発揮する姿、準備・計画してきた係活動に協力して取り組む姿は、見ていて気持ちのよいものでした。

競技終了後の整理体操では、代表生徒の号令のもと、みんなで大きなかけ声を掛け合う姿がありました。そして、なんといっても嬉しかったのは生徒の笑顔です。競技をやり切る気持ちよさ、みんなで共に取り組む喜び、応援する楽しさにあふれていました。そこからは自然と笑顔がこぼれ、共に活動できることの喜びが伝わってきました。その表情からは充実感とすがすがしさが感じられました。2日にわたる行事となりましたが、その中で、みんなで作くりあげ、“やりきった”と感ずることができた、意義ある学校行事になりました。



令和7年度 競技成績

学 年	優勝	2位	3位	4位
1年生	赤 2組(270点)	緑 4組(185点)	青 3組(165点)	黄 1組(150点)
2年生	赤 2組(245点)	緑 4組(210点)	黄 1組(190点)	青 3組(125点)
3年生	黄 1組(255点)	青 3組(190点)	赤 2組(170点)	緑 4組(155点)

色 別 優勝 赤色 2組

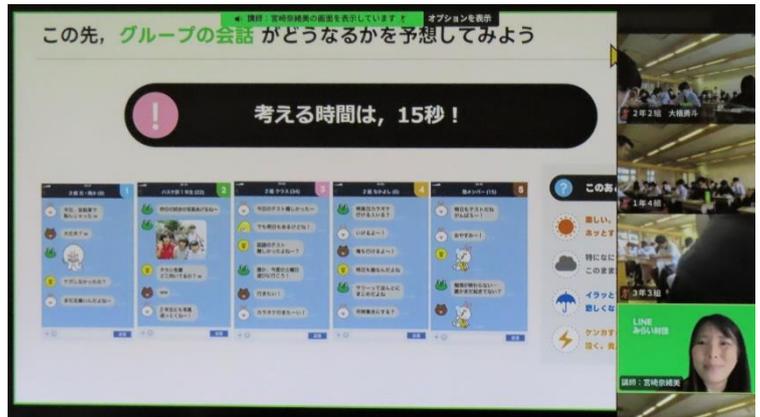
色別ダンス 最優秀 赤色 2組

この度は、区教育委員会より各小中学校に運動会等で使用できるテントをいただけることとなり、本校では、昨年度創立60周年実行委員会よりいただいた生徒席用テントと合わせて、本部運営に関わるテントも確保することができました。これにより、強い日差しだけでなく、今回のように雨を一時的に避けることができました。さらに、これらは重い鉄パイプを組み立てる方式でなく、フレームを広げるワンタッチ式であるため、生徒でも簡単に設置でき、会場設営の時間も大幅に短縮することができました。今後、こうした行事の際に有効に活用させていただきます。関係各位の皆様には、あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

SNSでの適切なコミュニケーションについて考える機会に セーフティ教室「オンライン出前授業」 5月7日(水)

4本校では、外部人材の活用を積極的に行うことで、学習活動の充実を図っています。

今年度のセーフティ教室では、LINEみらい財団が行っている「オンライン出前授業」を活用、情報モラル教育のうちのワークショッププログラム「楽しいコミュニケーションを考えよう!(リスクの見積もり編)」を実施しました。今回は、オンラインによる授業なので、アリーナでの講演形式でなく、各教室での班活動形式で行いました。



SNS上のグループ会話の様々なやり取りの事例パターンをワークシートでみながら、これを読んだ相手がどのように感じるかを想像し、それを基にして班ごとにグループディスカッションを行いました。意見交換をしてみると、同じ会話のやり取り一つを取っても、肯定的にとらえる生徒もいれば否定的にとらえる生徒もいて、短い文字の文章では、書き手の意図が読み手に上手く伝わらないことがあることに気付くことができました。そして、そうしたことを踏まえ、言葉の選び方には、客観的・多面的な視点をもった配慮が必要であることなど、SNSにおける適切なコミュニケーションについて考える機会となりました。



今回の講義を通して、生徒からは「送る前に、これを読んだときに傷つくことにならないか、内容を確認する。」「絵文字や!、?の記号なども上手に使って、感情のニュアンスを伝える。」といった感想があがるなど、受け手のことを考えたコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。これは、本校の校訓「品格・礼節」にもつながるものであり、SNSに限らず、日頃の会話の中でも活かして欲しいと思います。

元気に生活するためのヒント(アドバイス)をたくさんいただきました。

「八幡中生のための元気大作戦！」

日本体育大学 野井真吾 教授 講演会 5月9日(金)

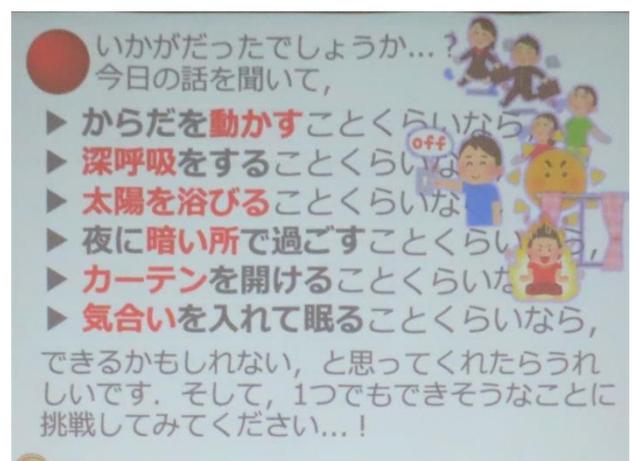
本校では、学校経営方針の柱のひとつに「自ら学ぶ ～ この先、学んでいく基礎をつくる ～」を掲げ、学力の定着・向上とともに、学び方を含めた物事に取り組む姿勢について身につけていくことを大切にしています。このたびは、日本体育大学 教授 野井 真吾 先生をお招きし、学校保健学、教育生理学の立場からご講演いただきました。

テーマは「八幡中生のための元気大作戦!」。なんで、朝から元気が出ないのか?改めて日頃の生活を見直してみると、そこにはマイナスになってしまうルーチンがあることに気付かされるお話から始まりました。そして、その対極なのが、みんな知っている言葉「早寝、早起き、朝ごはん」であり、その理由を生理学の視点から説明いただきました。

- ・スマホへの依存、それによる脳や睡眠への影響
- ・睡眠・食事と生活リズムとの関係
- ・日光を浴びる、運動をすることの大切さ
- ・歩くことや深呼吸することの効果



セロトニンやメラトニンといった専門的な用語を使いながらも、ユーモアたっぷりの先生のお話は分かりやすく、そのテンポの良さに引き込まれていました。その科学的な根拠をもとにした内容は説得力があり、「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを理解することができました。そして、元気になるためのヒント(アドバイス)もいただき、できるところからやってみようという気持ちになれるご講演でした。翌日から海外に出張とのこと、お忙しいなか本校のためにお越しいただき、ありがとうございました。



【野井 真吾 先生 プロフィール】

日本体育大学 体育学部 健康学科 教授。子どものからだと心・連絡会議議長、教育科学研究会「身体と教育」部会代表。教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学を専門領域として、子どものからだについて研究している。『子どもの“からだと心”クライシス』(かがわ出版)など著書多数。